

	2017年4月 茨城学習センターだより 第70号
	もくじ 巻頭言……………1 平成28年度第2学期卒業生……………2 退任された先生方からのご挨拶……………3 平成29年度第1学期入学者の集い……………4 新任の先生方からのご挨拶……………5 平成29年度ゼミのお知らせ……………6～8 茨城学習センター活動報告……………9 平成29年度ライブラリー講演会……………10 視聴学習・図書室の利用について……………11 今後のスケジュール/事務室からのお知らせ……………12
発行 放送大学茨城学習センター 〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内) TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685	

■ 茨城学習センター開設20周年を迎えて

放送大学茨城学習センター

所長 横沢 正芳



この4月に放送大学に入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。お一人お一人が夫々の思いと目的をもって放送大学に入られたと思います。初志の目標が達せられるよう学習センターは全面的に応援します。とりわけ、大学卒業をめざし全科履修生として入られた皆さんは、一步一步あせらず粘り強く歩んでいただきたいと思います。何事も一步一步の積み重ねが高き頂へと導きます。

さて、表題にも掲げましたが、本学習センターは平成9年4月に開設され、今年度で20周年を迎えます。当初は、茨城大学の建物を間借りし、狭苦しい視聴学習・図書室にすし詰め状態となり、学生には大変な不便をかけたとのことです。衛星放送による放送授業の全国展開がなされたのが翌平成10年ですので、当初は学習センターでビデオ教材を借りて勉強していたのです。平成17年に、本学習センターの建物が建ち、ようやく学生がゆったり使える学生控え室や視聴学習・図書室ができ、心地よく学習できる環境が整いました。本年度は、20周年の記念の年ですので、学生の皆さんと共に、生涯学習のセンターとしての歩みを確かめ、その成果を確認し、次への課題を見い出していきたいと考えます。そのため、学生の皆さんにご協力をお願いします。通信制の生涯教育の大学である放送大学では、学ぶ学生は様々な経緯を経て異なる環境で個々に学習しています。これらの様子は日常的には見えていません。この機関誌の末頁にありますように、様々な学生にとっての放送大学での学習についての投稿記事『私と放送大学』を募り、学生の全体像を浮かび上げたいと考えます。是非ご協力願います。

最後に、最近の金星写真を紹介します。昨年後半から、夕方に西の空に輝く金星が一段とその輝きを増していたことに気付いていたでしょうか。2学期の面接授業では最終講義が終ると帰り際には金星が輝き、みなさんを見送っていたと思います。ときには、空を見上げ、星々に親しんでください。



金星：2017年3月17日
学習センター前にて撮影

ご卒業・ご修了おめでとうございます

平成29年3月25日(土)、東京渋谷区にあるNHKホールにおいて、平成28年度放送大学学位記授与式が挙行されました。茨城学習センターからは、第2学期学部31名、大学院7名の方がご卒業・修了され、参加された学生へは、岡部学長より学位記が授与されました。その後ハイアットリージェンシー東京へ移動し、卒業・修了祝賀パーティーが盛大に執り行われました。心よりお祝い申し上げます。

学位授与式(NHKホール)



卒業・修了祝賀会(ハイアットリージェンシー東京)



卒業研究体験談 全履修生として2年以上在学し62単位以上を修得した方が申請できます。是非皆様も取り組んでみてください！

「卒業研究を楽しもう」

金子 紀夫

(教養学部社会と産業コース在学中)

全履修生の皆さん、6単位の取得を卒業研究ですか、授業ですか思案のしどころですね。私は前者を勧めます。何故なら自分の好きな研究テーマをゼミで先生や学生同士で議論し、終わってからコンパができるからです。

テーマは身近な経験や体験から選ぶと良いでしょう。大風呂敷を広げないことが大切で、私はこれで失敗しました。

次にテーマに沿って目次を展開します。ここで大切なことは、客観的事実と、それに対する自分の考えをはっきり分けることです。客観的事実とは歴史、各種データ、著作物、他人の考え、などがあります。これらと自分の考えは、別々の章または節として記述します。この辺はゼミで指導を受けられます。私のように目次を練り直した結果、テーマを変えることも珍しくありません。

自分の考えは、事実に対する「感想」程度で構いません。「意見や提案」にすると、その理由と根拠の組み立てが大変です。「感想」をたくさん書いているうちに、自然と「意見や提案」がまとまっていくようで、そこは既に修士課程の領域です。これはゼミで学びました。

卒業研究は相互刺激の学習です。また、ゼミは生きた情報交換の場です。チャレンジしてみましょう！

修了生のこぼれ

「ありがとう放送大学」

檜山 貴紀

(大学院社会経営科学'17'卒修了)

大学院は、研究のための十分な環境を提供してくれました。最初は修士論文のテーマを絞れず不安ばかりでしたが、先生や同期生らに励まされ無事に修了することができました。この間、初回のゼミが自身の結婚式と重なってしまい欠席したり、放送授業を子供の寝かしつけをしながらiPhoneで聴講したりするなど、必ずしも模範的な学生ではありませんでしたが、今となっては全て良い思い出です。

最後になりますが、茨城学習センターの皆様には本当にお世話になりました。特に、仕事のため一度しか参加できませんでしたが、砂金先生のゼミは研究の方法論の面で非常に興味深かったです。今後も放送大学大学院卒の名に恥じぬよう、研究を継続したいと思います。

「修了にあたって」

阿部 香織

(大学院生活健康科学'17'卒修了)

私は国家資格を有する職に就いていますが、就職して10年が経過し、自分なりに自身の経験と実績を積み上げてきました。しかし、もう1段階スキルアップをしたい、大学院へ進学したいという希望を持っており、通える大学院を探しましたが、仕事との両立は困難な大学院が多く、半ば諦めていました。

放送大学に大学院があることを知り、調べたところ、同じ職種の卒業生も数多く輩出していることを知りました。

仕事をしながら学ぶことができ、多岐に渡る分野と魅力ある指導教官にも恵まれている、放送大学大学院で学びたいと思い入学しました。実際、修了するまで仕事との両立は大変でしたが、Webを活用することで時間を調節し、多少の無理をすることで、無事に2年間で修了することができました。この2年間で培ったことを、今後に生かし、更なるスキルアップを目指したいと思います。



「農業関係科目の充実を一退任にあたって」

客員教授 ^{なかじま} 中島 ^{きいち} 紀一

2013年4月からこの3月まで、4年間茨城学習センターのお手伝いをさせていただきました。とても楽しく有意義な4年間でした。私の前職は茨城大学農学部で専門は総合農学です。ゼミのテーマは「農と環境と食」としましたが、毎月のゼミはみなさんととても熱心で、議論は大いに広がり、参加者は少しずつ増えて、いまは15名を越えています。放送大学で学ぶみなさんは、農業への関心がとても高いのに、カリキュラムには農業系科目がたいへん少ないのは大問題ですね。農学部から推薦される先生の面接授業や私のゼミには期待が集まっているなど実感しました。放送大学本部は、学習の柱建てを改めて、学生の皆さんの期待に応えて農業重視の科目をもっと多彩に取り入れてほしいと思います。



「退任のご挨拶」

客員教授 ^{みやかわ} 宮川 ^{はつぺい} 八平

平成26年4月～平成29年3月までの3年間、客員教員を務めさせていただきました。その間、放送大学の学生の皆さん、教員・事務の方々には大変お世話になりました。面接授業、ライブラリー講演、月1回のゼミでは、学生の多くが自分よりも年長であるにもかかわらず、向学心が旺盛で授業を聞く態度も真剣でした。放送大学の学生には、学問を学び教養を豊かにしたい学生、臨床心理士や看護師の資格を得るためのコースを選択する学生など様々な目的意識をもった学生がいます。医学分野の教員として、面接授業では学生がキャリアアップするために専門知識・最新情報を提供しました。一方、ゼミでは基礎的な消化器病学の解説をしましたが、授業の大半は学生の闘病体験や健康相談の場となり、学生と共に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。話下手の私の授業を3年間眠気をこらえて真剣に聞いてくださった学生の皆さん、ありがとうございました。



「退任のご挨拶」

客員准教授 ^{いさご} 砂金 ^{さちとし} 祐年

平成20年度より非常勤講師として面接授業を、そして平成25年度より客員准教授としてゼミナールを担当させていただきました。特にゼミナールにおいては多くの経験をさせていただきました。本務校である常磐大学では22歳までの若者が相手ですが、放送大学では人生の先輩ばかり。そうした方々に政治や行政についてお話させていただくのは恐れ多く、最初は緊張しながらゼミに臨んだものでした。しかしゼミの皆さんは若輩の私を快く受け入れてくださいました。ゼミはテキストの輪読が基本でしたが、毎回本の内容を超えて幅広い議論に発展しました。最初は3名だった参加者も次第に10名くらいまで増えていき、色々な経験や知識をお持ちの方々と日本の政治や行政について深く論じ合うことができたことは、私にとって楽しくまたかけがえのない経験となりました。これからも何らかのかたちで皆様とお会いできればと思っております。ありがとうございました。



「退任のご挨拶」

客員教授 ^{すぐなり} 直成 ^{ようこ} 洋子

退任にあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。放送大学茨城学習センターでは公開講座（ゼミ）、公開講演会、面接授業・・・と様々な体験をさせていただきました。ゼミでは、どのようなテーマで取り組んだらよいのか悩み、横沢センター所長にご相談させていただき、健康や健康生活についてのテーマで行いました。今までの人生経験を踏まえて活発な意見交換の場をもつことができ刺激されることばかりでした。また、公開講演会では、地域住民の方々にも健康な生活を送る大切さを知っていただく機会があり、参加者の関心の高さを感じることができました。面接授業では、がんをもちながら生きるというテーマでグループワークを取り入れて展開させていただき、事例を通して人が生きることにについて考え、病をもちながら生きる人へのサポートについても深めることができました。放送大学で生涯学習に専念されておられる人生経験豊富な方々を通して、私自身も学ばせていただくことが多く、大変意義深いものとなったことを感謝しております。私は看護系の教員をしておりますが、看護系大学も240校以上となり質の向上が問われる時代に入っています。私事により茨城県を離れ他大学に移ることになりました。1年間という期間でしたが、茨城学習センターの教職員の方々には大変お世話になり、本当にありがとうございました。茨城学習センターの今後のご発展と皆様のご活躍を心からお祈りいたします。

ご入学おめでとうございます



4月2日(日)、茨城学習センターにて「入学者の集い」と、同窓会による「歓迎茶話会」が執り行われました。「入学者の集い」では、横沢所長挨拶、客員教授ならびに来賓祝辞、佐藤佳菜子様から新入生代表挨拶あり、また、歓迎茶話会は、各サークルの紹介や入学者の自己紹介等、大変和やかで貴重な会となりました。また、放送大学の15分情報番組「大学の窓」の収録が茨城学習センターで行なわれ、当日の集いや茶話会の様子、サークル「数学共楽会」紹介、学生へのインタビュー等が、4月22日(土)・24日(月)・26日(水)・28日(金)の12:45～・19:45～・23:00～テレビ、またWEBでも全国放映されます。お楽しみに！



入学者の集い



新入生代表挨拶



歓迎茶話会



新入生代表のこぼれ

「一歩進んで学ぶこと」

佐藤 佳菜子

(教養学部自然と環境コース入学)

本日は私たちのためにこのような会を開いていただき、ありがとうございます。

私は高校を卒業後、ある目標に向けて貯金をするために働いていました。しかし、目標とはいっても曖昧なものだったため、徐々に興味が薄れ、目標を見失ってしまいました。

目標を失った中で家と職場の往復をしていると目新しいことも起きず、行動範囲や考え方の視野が狭くなっていると危機感を感じました。

何か環境を変えたいけれども、仕事は続けられないといけなかった。そんな時に通信制で学べる、放送大学のことを思い出しました。これなら働きつつ新しいことを学ぶという目標にできるのではないかと、また、昔憧れた学芸員の資格に必要な科目を履修できるのも魅力的でした。

そんな時に、私の好みだろうと、父がとある本を買ってきてくれました。それは宇宙の始まりから現在までの地球の歴史をまとめた地球科学の本でした。元々私は宇宙に関する話に興味を持っていたのですが、そこから一歩進んで学ぶことはありませんでした。しかし、読み始めてみると宇宙の話以外の内容もとても面白く感じました。

すると偶然にも本に載っていた始祖鳥の化石の展示が東京で行われると知り、実際に見に行きました。その本で学んだことが行動のきっかけになったのです。さらに他の展示物にも惹かれるものがあり、興味の範囲が広がりました。

なんとなくあった興味を追いかければ行動にも繋がる上に、追いかけた先で新たなことにも繋がる。これは素晴らしいことだと思います。

この放送大学で学んでいけば、そのような瞬間を増やしていけると 생각합니다。働きながら学ぶので、大変なこともあるかもしれませんが、新たな目標に向かって精一杯進んでいきたいと思っていますので、先生方はじめ、職員の方々、どうぞよろしくお願い申し上げます。

客員教員—新任のあいさつ—

■2017年4月1日ご就任



「新任のあいさつ」

茨城学習センター客員教授
茨城大学名誉教授 / 専門分野：植物病理学

あきつ かづみ
阿久津 克己

平成 29 年 4 月より放送大学の客員教員に加わるようになりました阿久津です。1979 年に東京大学大学院で博士を取得した後、理化学研究所を経て 1982 年に茨城大学農学部にて奉職しました。昨年 3 月に定年退職し、現在は複数の大学で非常勤講師を務めています。専門は植物病理学で、植物の生体防御機能と抗菌活性を併せ持つ抵抗性遺伝子を用いて、病気に強い組換え植物や抗菌力を高めた組換え微生物を作出し、環境負荷の少ない防除法の開発に取り組んできました。放送大学には 2000 年から 2005 年まで客員教授として勤務し、面接授業やゼミ等で、多様な経歴の学生さんとの意見交換を通して、数多くの刺激を受けたことを思い出します。今回の面接授業やゼミでは、これまでの研究成果を踏まえながら、生態系における植物と微生物の相互関係、更に人類が参戦する農生態系で生じる現象について、最新の研究報告を交えて紹介します。今回も多くの刺激を受けることを楽しみにしています。



「古地図の世界への誘い」

茨城学習センター客員教授
茨城大学教授 / 専門分野：人文地理学

おの でら あつし
小野寺 淳

江戸時代の地図を研究しております。古地図から江戸時代の人々の世界観や国土観を解明し、描かれた場所の江戸時代の道や堀、城郭や武家地・寺地・町人町を復元することができます。さらに、土地の高低さから立地や現在までの変化を考えることができます。江戸時代は、おそらく世界で最も多くの地図が作成されたと考えられています。木板で出版された日本図や旅行案内図など、旅人はもとより、オランダ、清国、李氏朝鮮を通して、西欧諸国へももたらされました。一般にシーボルト事件によって蝦夷図や日本図は没収されたと思われています。しかし、シーボルトは多くの地図を日本で収集し、事件以前にオランダへ送っていました。これらを参考に『日本』が刊行され、これを読んだ国々が日本との通商を求めました。このように古地図は私たちに様々なことを教えてくれます。古地図の世界に、皆さんをお招きしたいと思います。



「ご挨拶」

茨城学習センター客員准教授
茨城キリスト教大学准教授
/ 専門分野：老年看護学

つじ ようこ
辻 容子

2017 年 4 月より放送大学の客員准教授になりました辻容子と申します。経歴は、東京都内で看護師をした後、東京都・神奈川県で看護教員を経験し、現在、茨城キリスト教大学看護学部老年看護学の教員をしています。看護師から看護教員になったきっかけは、看護師の時に救急現場で多くの高齢患者さんとの出会い、転倒により入院を余儀なくされる現状を見てきました。そのような状況を少しでも減らしていきたいと思ったからです。私の研究は、加齢とともに出現する身体変化に起因した入院中の高齢者の転倒とその対策について、高齢者の行動や視覚情報を測定し、環境整備について検討しています。放送大学では、病院や自宅で高齢者が安心した生活を送るための環境について、皆様と考えたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



「心とは何でしょう」

茨城学習センター客員教授
常磐大学教授 / 専門分野：臨床心理学

わたなべ こうけん
渡邊 孝憲

私は現在、常磐大学の人間科学部心理学科に所属しています。常磐の心理は、「心」を科学的に明らかにし、人間が、より心理的に健康に、その力を遺憾なく発揮して生きていくにはどうしたら良いかを探究しています。しかし、そもそも「心」とは何だろう、心理学の世界に 40 年以上籍を置いているのにますますわからなくなってきています。さらに、「健康」とは、「科学」とは何だろう、これらも難しい。目には見えない「心」を科学的に捉えるにはどうしたらいいのだろう。そういう心理学の中でも私の専門はいちおう臨床心理学ということになっています。たしかにここ 40 年ほどいわゆるカウンセリングというのをやってきましたが、話を聞いてもらうとなぜ人は元気になるのだろう、という問いから始まって、「カウンセリング」とは何なのか、はっきりした答えはますます手にできそうもありません。そんなことをみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

平成29年度ゼミのお知らせ

新ゼミ

☺ 月ごとの日程は、茨城学習
センターHPで確認してください
[http://www.sc.ouj.ac.jp/
center/ibaraki/](http://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/)

New テーマ『微生物の世界』初回：4/8(土)10:00～

あくつ 阿久津 克己

毎月第2土曜日10時～



概要 多様な微生物の世界に目を向け、それらの発見や研究の歴史、分類やその変遷のあらましを紹介する。次に、細菌と菌類を取り上げて、それぞれの構造と機能、代謝及び遺伝等、そして微生物特質の実験方法について解説する。最後に、地球の生態系で悠久の時を越えて相対してきた人類と微生物との関係を取り上げ、意見交換を行う。

計画 第1回ゼミで全内容をまとめた資料を提示し、それに沿ってパワーポイントを用いて解説するとともに、疑問点等について意見交換を行います。

メッセージ 今回のゼミを通して、地球生態系における微生物の役割、しいては我々人類との強い結びつきについて再認識する糸口になればと考えています。

New テーマ『古地図の世界を楽しもう』

初回：4/7(金)16:00～

おのであつし 小野寺 淳

毎月第1金曜日16時～



概要 古地図には世界図、日本図、都市図、村図、河川図、道中図、海図など、世界には様々な種類の地図が残されています。しかし、まだ誰も研究したことのない古地図が数多く残っています。従来の研究書には記載されていない、新たな気付きがあるかもしれません。

計画 古地図の研究方法を講義したのち、関心のある古地図について調べ、ゼミで報告し、受講者の皆さんでディスカッションをします。

メッセージ 現行の地図以外は古地図です。砂絵、岩絵、絵図や鳥瞰図、実測図など、楽しみながら学びましょう。

New テーマ『健康生活について考えよう』

初回：5/20(土)10:00～

つじ ようこ 辻 容子

毎月第3土曜日10時～



概要 最近、日々の暮らしのなかで健康問題について取り上げられ、健康や健康問題について関心が高くなっています。身近なことから話題を持ちより、現在の生活からより健康的な生活について語り、考えましょう。

計画 ゼミ参加者の関心のあることから相談しながら進めていきます。

メッセージ 自分らしく年を重ねるために必要なことを考える場にしたいと考えています。

New

テーマ『人の悩みをどう聴くか、人の心をどう理解するか』

初回：4/22(土)14:00～

わたなべ こうけん 渡邊 孝憲

毎月土曜日1回14時～



概要 カウンセラーに必要なのはアドバイスができることではない。悩みを持った人（クライアント）の話をちゃんと聴けるかどうかが決め手になる。このゼミでは、どのようにしたらクライアントの話をちゃんと聴けるようになるのか、お互いにカウンセラー役クライアント役をとっての実習もしながら検討していきたい。

計画 最初にロールプレイを行ってどんな話しの聴き方ができるかをチェックする。次に、カウンセラーはどういうことに注意して話を聴くのかについて文献を読んだり、実際のカウンセリングの事例研究やビデオなどをみてその実際に触れる。そのうえでもう一度ロールプレイを行い、最初とどのような変化があるかをみる。このような方法でゆっくり進めていきたい。

メッセージ 人の心を理解するには静かにゆっくり進むことが大切である。そのときそのとき

参加者が感じていることをあわてないで表現でき、他の参加者もそれにじっくり耳を傾けられるような雰囲気になりたい。

茨城学習センターの所長・客員教授等によるゼミ全13！今年度もシリーズで行う予定です。(次回の時間はゼミ受講時に通達)興味のある方、途中から参加してみたい方は事務局(TEL029-228-0683)までご連絡ください。

テーマ『摩擦とともに力学を学ぼう』

しみず 清水 じゅん 淳 毎月第2水曜日 10時～

初回：4/19(水)10:00～



概要 家電やオフィス製品の故障原因の代表格である摩擦は、厄介な場合もある反面、歩く、つかむなどの日常生活の基本動作としても必須です。日頃は意識せずに利用している摩擦について、基本的な力学を学びつつ根本から理解し、うまく付き合えるようになります。

計画 その日のテーマに関する資料を配布します。大学の教科書にも載っていない、摩擦の分子シミュレーションの研究例なども交えつつ、摩擦によるエネルギー損失のメカニズムや摩擦を制御する方法などをわかりやすく講義します。時折、力学や摩擦関連の実験も試みる予定です。

メッセージ 表面、接触、摩擦、摩耗、潤滑といった現象だけでなく、物理の力学の基礎も学べます。家電や自動車用のしゅう動部品などに対する認識も変わるでしょう。ぜひ気軽にお立ち寄りください。

テーマ『音読を通して、英語を楽しく学ぼう』

たかはし のりお 高橋 教雄 毎月日曜都度相談 10時～

初回：4/16(日)10:00～



概要 「英語は難しい」、「英語は苦手」という思い込みからの脱却を図ります。発想の転換によって、英語学習の楽しさを実感できるようにします。特に、外国語学習の基本となる＜音声・発音＞にしっかりと向き合う姿勢を身に付けます。

計画 各界の著名人による＜名言＞と呼ばれる言葉を音読することから始め、そうした言葉が何故＜名言＞と呼ばれるのか、私たちに何を伝えようとしているのか、様々な角度から眺め、意見交換をしていきます。

メッセージ 英語に関して疑問に思うことは、なんでも質問してください。

テーマ『美術作品から歴史を「読む」』

ふじはら さだお 藤原 貞朗 毎月土曜都度相談 10時～

初回：4/15(土)10:00～



概要 東西の美術の歴史のなかから、毎回、芸術家や名作をしばって、じっくりと作品を鑑賞、分析し、その背後の歴史を読み解きます。2016年度は、「抽象絵画をどう見るか」、「ニセモノと美術」、「芸術祭の制度と作品」などについてレクチャーとディスカッションを行いました。

計画 今年度も昨年度と同様に、ゼミ学生からのリクエストによって、それぞれの関心のあるテーマを取り上げ、掘り下げて考えたいと思います。

メッセージ 美術が好きな方、理解を深めたい方はもちろん、美術が苦手という方もぜひご参加ください。美術について学び、美術を身近に生活のなかで感じることができるようになれば、かならず新しい世界が広がってゆきます。

テーマ『テレビについて考える』

むらの い ひとし 村野 井 均 毎月土曜日 1回 10時～

初回：4/1(土)13:00～

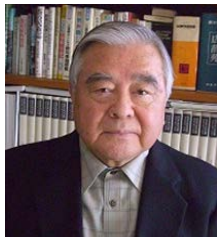


概要 映像を誰もが作る時代になりました。作品をインターネットに上げることもできます。市民が番組制作者と同じことをできるようになったのです。しかし、人権侵害やフェイクニュースといった問題も引き起こしています。子どもがテレビを読み間違え例を示しながら、視聴者にわかる番組とは何か考えます。

計画 毎月1回、2時間のゼミをしています。資料を出したり、映像を見たりしてから話し合います。感想から、データの読み取り方、批判までいろいろな意見が出ます。

メッセージ テレビは、いろいろな角度から話ができます。新しいことを教えてもらったり、ネット情報を教えてもらったり、懐かしい話もします。気軽に会話しましょう。会話の内容を研究の種にも使っています。私にとって、勉強になるゼミです。

テーマ 『“R. Carson: Silent Spring (沈黙の春), 1962.” を読む』 ^{あさの}朝野 ^{よういち}洋一 原則月2回日曜日10時～
初回：4/16(日)10:00～



概要 農業による環境汚染を扱った名著です。17章構成の14章まで読み進めてきました。翻訳本がありますが、原文を丁寧に読むことを心がけています。本書出版以降に得られた科学的知見を補うには、放送大学の印刷教材が役立っています。

メッセージ 時事問題で会話に花が咲きすぎることありますが、“異業種間交流”の良さが実感できます。放送大学ならではのゼミだと思います。

テーマ 『解析の基礎から応用数学へ』 ^{おく}奥 ^{たつお}達雄 毎月第2日曜日13時～
初回：4/23(日)13:00～



概要 最初の1-2か月で前年度から続いている「解析入門」（放送大学教科書）を終える予定です。その後E. クライツィグ(E. Kreyszig)著“Advanced Engineering Mathematics (和訳＝技術者のための高等数学)”の第10版Part A:常微分方程式を中心に英語版を使って進めていく予定です。この本は理論から応用まで比較的理解しやすく説明されています。演習問題の多いのが特徴で理解を深める助けになります。第5版については和訳も出ています。

計画 参加者が分担して内容及び演習問題の解答を説明することによって進めていきます。疑問点及び理解しにくい部分を解消するように努めます。第10版は第5版と演習問題などは違っているようですが、共通点も多いので、訳本は参考になるとと思います。

メッセージ 微分方程式は理工学、経済学など広範囲の分野で応用されています。種々の問題のモデル化とその結果の微分方程式のうちまず常微分方程式の解法について学びます。数学の応用に興味を持つ方の参加を歓迎します。微分積分の基礎を学んだ人なら理解できる内容です。



テーマ 『実用の統計学』 ^{しおみ}塩見 ^{まさえ}正衛 毎月土曜日1回13時～
初回：4/21(金)12:00～

概要 放送大学の印刷教材「データからの知識発見」「改訂版統計学」をテキストに、実務・理論の両面からバランスの取れたゼミが行なわれています。身近な問題を取り上げて「一人一人研究」に取り組めます。

メッセージ 統計学を学んで問題解決に活用しましょう。

テーマ 『やさしい英会話教室』 ^{しらいし}白石 ^{まさたけ}昌武 毎月土曜日1回10時～
初回：4/22(土)10:00～



概要 中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。例えば：When did you get up this morning? (今朝何時に起きましたか?) I got up at seven. (7時です)：のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。

計画 しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。

メッセージ 平成29年3月現在参加者は50歳から70歳過ぎの方々5～6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。



テーマ 『相対論を勉強しよう!』 ^{よこさわ}横沢 ^{まさよし}正芳 毎月第3土曜日10時～
初回：4/15(土)10:00～

概要 相対論を初歩からはじめて、じっくりと理解する。時間が延びる、空間が縮むことを無理なく納得できるようになることをめざす。また、相対論に関連する話題、重力波の観測等も皆で議論する。

計画 教科書「相対性理論」（中野薫夫著：岩波書店）を輪講し、疑問点について意見交換する。

メッセージ 日常の感覚からは感じにくい相対論の世界を覗いてみませんか。気楽にお立ち寄りください。皆で歓迎します。



茨城学習センター活動報告



オープンキャンパス・学園祭

10月



オープンキャンパス・学園祭にまなびがやってきました！PRのため NHK 情報番組「いばっチャオ！」にも生出演！！



学生研修旅行
in 甘楽町



11月



第7回教員・学生講演会

12月



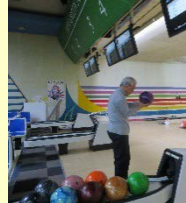
ぶち新年会

1月

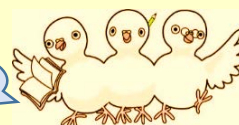


2月

第22回ボウリング大会



キャンパスライフを
共に楽しみましょう



茨城学習センター
にはおよそ1,200
人の仲間がいます！

放送大学 平成 29 年度 ライブラリー講演会



申し込み・参加費不要 !!

時 間 14:00 ～ 16:00

茨城県立図書館 視聴覚ホール

回	期 日	テーマ	講 師	内 容
162	平成 29 年 4 月 15 日 (土)	天空の果実	茨城学習センター所長 茨城大学名誉教授 横沢 正芳	宇宙の誕生と進化の中で、星や銀河など種々の天体はどのように生まれてきたのかについて考えます。観測の進歩により、100 億年前の宇宙の姿や宇宙の大きさが現在よりも約 1/10 または 1/1000 小さかったときの情報が得られています。観測は、ダークマターとダークエネルギーの存在を示しますが、これらの環境で宇宙の大規模構造や銀河における星の大量発生が如何に起きるかを見ていきます。
163	5 月 20 日 (土)	テレビ理解の心理学	茨城学習センター客員教授 茨城大学教授 村野井 均	子どもはテレビをどう見ているのでしょうか。テレビは簡単にわかると思われていますが、子どもは間違っているか、あるいは正しいか、なぜならば、テレビの中に小人が住んでいるのか、誰がどの声を出しているのか、不思議に思いながらテレビを見ている。日本アニメには、回想シーンもたくさんあります。子どもはどうやって、これらの問題を解決するのでしょうか。子どもの姿から、なぜテレビを理解できるのかを考えます。
164	6 月 17 日 (土)	世界のコーヒーマーケットの現状と変貌について	株式会社サザコーヒー 取締役営業部長 小泉 準一	グローバルな市場に対応を求められているのは、工業製品、情報通信だけではなく、コーヒー市場も例外ではありません。グローバル化の波は原料や文化まで、新しい世界を創り出しています。日本のマーケットでも例外ではなく、現状何が起きているか？産地の話も含めて、美味しいコーヒーとはどのようなものなのか？どんなコーヒーが消費者から求められているのか？お話をしていきたいと思えます。
165	8 月 26 日 (土)	どうして＜英語は難しい＞と感じるのか	茨城学習センター客員教授 茨城キリスト教大学教授 高橋 教雄	流暢に英語を使いこなす日本人が増える一方で、苦手意識を持つ人、難しいと感じる人が多いのも事実です。その大きな原因は、英語学習の際に日本語の枠組みをそのまま当てはめようとするところにあると思われます。具体的な例を使いながら、苦手意識を克服する方法、効果的な学習方法を一緒に考えたいと思えます。
166	9 月 16 日 (土)	カウンセラーは何をするのか？	茨城学習センター客員教授 常磐大学教授 渡邊 孝憲	カウンセリングという悩んでいる人の話を聞き、それに対するアドバイスをするというイメージがありますが、それは有効でないことが多いです。それはなぜなのか。ではカウンセラーは何をするのか、どうやって悩みを解決するのか。私は理解することが最も大切であるし、効果的であると考えています。今回は来談者中心のカウンセリングを取り上げ、理解することとはどうすることなのか、それがなぜ効果的なのかを考えたいと思えます。
167	10 月 21 日 (土)	芭蕉が『おくのほそ道』に込めた思い ー芭蕉自筆本に基づく新解釈	放送大学教授 魚住 孝至	『おくのほそ道』は芭蕉が東北を巡った時の紀行文の形式をとっていますが、旅から 4 年も経って書き始め、死の半年前に完成した作品です。旅の時の句は大幅に直され、執筆時に新たに作った句も多い。1996 年に再発見された自筆本には、清書した上に 76 枚も貼紙をして推敲を重ねた跡が見られ、永遠の古典を残そうとする芭蕉の執念がうかがわれます。作品全体は連句の手法で五部に構成され、人生観・宇宙観も表現しています。改めて一緒に読みませんか？
168	11 月 4 日 (土)	知の探究者：長久保赤水ー赤水が描いた地図の世界ー	茨城学習センター客員教授 茨城大学教授 小野寺 淳	今年は高萩市が生んだ偉人・長久保赤水生誕 300 年を迎えます。赤水は 18 世紀後半に日本図・中国図・世界図などを刊行しました。なかでも赤水の日本図は最も好評を博し、当時の人々が日本の国土を認識する地図となりました。日本図はシーボルト『日本』にも掲載され、オランダ商館長やシーボルトを通して世界に広まります。ご子孫宅からの新出資料も加えて、赤水の地図作製過程とシーボルトへの影響を紹介いたします。
169	12 月 16 日 (土)	平将門の乱を考える	茨城大学教授 茨城大学図書館長 高橋 修	平将門は、なぜ一族と戦わなければならなかったのか？そしてなぜ「関東独立」を夢見るようになったのか？古代史上最大の反乱とされる「平将門の乱」には、まだ解明されていない、多くの謎が残されています。この講義では、反乱に至る経緯や将門とそのライバルたちの勢力基盤を解明しつつ、将門の乱の歴史的意義について考えます。
170	平成 30 年 2 月 17 日 (土)	相思相愛の倫理	茨城大学教授 渡邊 邦夫	片想いも愛だという立場もありますが、古代のアリストテレスは、相思相愛で相手の思いを受け止めて自分から積極的にその相手を受することこそ、愛（あるいは友愛）の本領だと考えました。双方向的で相手を理解することが重要なこのような愛の議論は、現代のコミュニケーションの哲学を先取りしている面もあります。愛により人間は高まると彼は力説しました。本講演では、愛と人間の幸福の関係に関するアリストテレスの主張を説明します。
171	3 月 17 日 (土)	遺伝子の運び屋さんーウイルス・トランスポゾン・プラスミドー	茨城学習センター客員教授 茨城大学名誉教授 阿久津 克己	近年、人類は遺伝子を操作する技術を手に入れ、神の領域？にでも近づいたかのように誇らげです。しかしながら、自然界には遺伝子を操り、多様な生物に遺伝的変異、そして進化？をもたらす「遺伝子の運び屋さん」が蠢きます。人類にとって敵か味方か、この曖昧模範なる存在（ウイルス・トランスポゾン・プラスミド）について解説を試みます。

主催
お問い合わせ

放送大学茨城学習センター
水戸市文京 2-1-1 茨城大学水戸キャンパス内
tel:029-228-0683

茨城県立図書館
水戸市三の丸 1-5-38
tel:029-221-5569

※都合により日程・会場・内容等が変更になる場合があります。

視聴学習・図書室の利用について

放送大学には附属図書館(本部図書館)をはじめ各学習センター視聴学習・図書室があり、本学学生の皆さんが学習・研究に役立つ資料利用やさまざまなサービスを提供しています。

これらを大いに活用して、豊かで充実した学習の時間をお過ごしください。

学習に活用する

《放送教材・図書資料等の視聴および閲覧》

開設科目の放送教材(DVD・CD)や印刷教材ほか授業に関連した各分野の図書が備えられています。

『放送を見逃してしまった! インターネットが視聴できない! 自宅では集中して学習できない!』という方は、学習センターの視聴学習・図書室をご利用ください。

* 学習センターまでお越しになれない方は郵送貸出も行っています。

《面接授業の予習・復習》

面接授業の参考図書を毎学期配架しています。(面接授業終了までは館内閲覧のみ)

《科目登録》

次学期の履修科目に迷ったら、図書室にある印刷教材に目を通したり、実際に放送授業を視聴してみましょう。

室内利用に限り登録科目以外でも視聴することができますので、科目選びの参考にしてください。

* 放送教材の室外貸出ができるのは、基本的にご自身の登録科目のみです。

《学生用パソコン》

通信指導・オンライン授業・キャンパスネットワーク・WAKABA・OPACもご利用いただけます。

教養を深める

《閉講科目の放送教材》

本部図書館には閉講科目の放送教材が所蔵されています。利用したい場合は、学習センターに取り寄せて視聴することができます。ただし、室外貸出は行っておりませんので視聴学習室利用に限ります。

放送大学OPACまたは学習センター図書室カウンターで申し込んでください。

《推薦図書・DVDコーナー》

科目主任講師がすすめてくれた本や特別講義のDVD・CD・学生による論文集などがあります。

そのほか詳しい利用方法はコチラをご覧ください

- ・ 放送大学茨城学習センター 「利用の手引き」(P4~5)
- ・ 放送大学附属図書館トップページ(lib.ouj.ac.jp)の『リブナビ』

茨城学習センターならではのDVD・CDがあります(室内視聴のみ)

『無縁社会にしないために』	宮本 みち子	放送大学副学長・教授	103分
『臨床心理学への招待』	小川 俊樹	元放送大学臨床心理学教授	112分
『声で伝わるあなたの気持ち』	見澤 淑恵	朗読家	60分

今後のスケジュール

4 月

April 2017

1 日(土)
"
2 日(日)
3 日(月)・10 日(月)
14 日(金)
15 日(土)
"
17 日(月)
21 日(金)
24 日(月)・29 日(土)

第 1 学期放送授業開始
集中科目履修生募集要項配布開始(司書・看護)
入学者の集い・歓迎茶話会
閉所日
教員免許更新講習[夏期]受付開始
ライブラリー講演会(横沢 正芳 所長)
第 1 学期面接授業開始・面接授業(追加登録)空席発表
閉所日
面接授業(追加登録)受付開始
閉所日

5 月

May 2017

1 日(火)
3 日(水)・4 日(木)・5 日(金)
8 日(月)・15 日(月)
18 日(木)
20 日(土)
24 日(水)
29 日(月)
31 日(水)

閉所日・集中科目履修生出願受付開始(司書・看護)
閉所日
閉所日
教員免許更新講習[夏期]受付終了
ライブラリー講演会(村野井 均 先生)
第 1 学期通信指導提出開始
閉所日
集中科目履修生出願・在学生科目登録受付終了(看護)

6 月

June 2017

5 日(月)
7 日(水)
"
12 日(月)
15 日(木)
"
17 日(土)
18 日(日)
19 日(月)・26 日(月)

閉所日
集中科目履修生出願・在学生科目登録受付終了(司書)
第 1 学期通信指導提出期限(教養学部・大学院)
閉所日
第 2 学期募集要項配布開始
第 2 学期出願受付開始(第 1 回~8/31)
ライブラリー講演会(小泉 準一 先生)
卒業研究ガイダンス
閉所日

■事務室からのお知らせ■

放送大学茨城学習センター開設 20 周年によせて 寄稿『放送大学と私』のお願い(執筆依頼)

放送大学の特徴は、いろいろな学生が学んでいることです。職業も生活も年齢も異なり、また、学ぶ目的も卒業を目指すもの、資格取得のため、好きな科目を受講するためなど、様々です。しかも、学ぶスタイルも、仕事の合間に、家族が寝静まってから、朝早く起きて、夫婦で、学ぶ曜日も決めてなど、いろいろと工夫されて生活に組み込まれて居るようです。これらの放送大学で学ぶ多様性は、大学の貴重な特質です。放送大学茨城学習センターは、2007 年に開設 10 周年を迎えて記念誌を発行し、放送大学で様々な学ぶ学生の皆さまからの寄稿を掲載しています。これは本学の大切な財産であるとともに、共に学ぶ学生の皆さまからの寄稿をお願いし、記念誌に掲載したいと考えます。学ぶ考えや姿は一人一人特有のもので、是非、この機会に、寄稿をお願いします。(500 字以内) 詳細は事務室まで: ☎029-228-0683

茨城学習センター職員異動のお知らせ

平成 29 年 4 月より

新

総務主任: 長谷川 照晃
教務担当: 薄井 貴子

よろしく
お願い
します

職員一同今年度も一丸となり頑張ります

お世話に
なりました

平成 29 年 3 月に退職しました

総務主任: 永久 幸司 総務担当: 藤澤 真紀子

事務
職員
2017

事務長: 栗田 稔
学務主任: 磯 博美
総務担当: 小野瀬久美子
学生担当: 菊地 夕子
図書担当: 金田 三枝子
図書担当: 吉田 かおる